

# ● 入力項目の説明

**動物実験（教育研修）計画申請書**  
Application for animal experiment protocol (education protocol)

受付番号	申請種類	ステータス	提出日	承認日
	新規	作成中		

ディスカッション【全体】  
ディスカッション

概要 Overview

- 動物実験（教育研修）計画の課題名  
Title of animal experiments and related activities
- 実験実施予定期間  
Scheduled period of animal experiments and related activities  
※3年度期間まで申請できます。承認期間満了時に期間更新ができますが、新規申請承認開始日から最長6年度末までとします。  
総長承認日 ~ 2024年3月31日 (最長承認日:2028年3月31日まで更新可)  
 実験の開始に緊急事由を有するため、迅速審査を依頼する
- 計画の種類  
Type of application (animal experiment or education)  
 動物実験（試験・研究）  教育研修
- 動物実験実施者（教育研修講師）  
Animal experiment researcher (instructor)  
検索 グループ選択  

氏名	入力権限	所属部局	職	電話番号	教育訓練受講番号	
	<input checked="" type="checkbox"/>					削除
	<input type="checkbox"/>					削除
	<input checked="" type="checkbox"/>					削除

 自由入力欄追加

## 検索画面

ユーザー登録で実施者グループを登録しておくと、一括指定できます。

実験従事者/実験実施者/飼養者/編集者 選択

所属部局 (学生は「全部局」から検索) 学籍番号 氏名

漢字またはか（半角）で部分一致検索できます。検索  
※氏名の中に全角スペース（かの場合半角）を入れてください。

選択

選択	氏名	所属部局	職	教育訓練受講番号
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				

チェックを入れて、追加してください。

追加

### ① 動物実験（教育研修）計画の課題名

- 計画書の内容に則した課題名としてください。
- すでに承認済みで有効な計画書と同じ課題名は使用しないでください。（期限切れ終了予定で期間重複なく新規申請する場合を除く。）

### ② 実験実施予定期間

- 実験開始予定日を指定できますが、それまでに計画書が承認されることを確約するものではありません。審査に時間を要する場合がありますので、余裕をもって申請を行ってください。
- やむを得ない理由で至急の審査が必要な場合、迅速審査が認められる場合があります。動物・遺伝子実験支援センターHPの「動物実験を行なう方へ」のページ、「計画書の審査」  
(<https://www.clag.med.tohoku.ac.jp/clar/flow-chart/#examination/>)を確認してください。

### ③ 計画の種類

- 計画書の種類を選択してください。学生実験、技術の向上など教育や研修を目標としたものは「教育研修」を選択してください。

### ④ 動物実験実施者（教育研修講師）

- 検索ボタンから実施者を追加してください。
- 計画書の作成を開始した人には初期設定で入力権限が付与されています。計画書の作成依頼をする場合、該当者に権限を付与してください。【注意】入力権限の付与は必要方のみとしてください。同時に編集が行われた場合、先にアクセスした方の保存が優先される等、注意が必要です。

# ● 入力項目の説明

⑤

<b>動物実験（教育研修）責任者</b> Principal investigator (Instructor)	※実験責任者は実験内容の把握・管理ができ、計画書に関する問い合わせに対応できる実験実施者としてください。			
	氏名	<input type="text"/>	職	<input type="text"/>
	所属部局	<input type="text"/>	分野等	<input type="text"/>
	電話番号	<input type="text"/>	E-mail	<input type="text"/>
	教育訓練受講番号	<input type="text"/>		
<b>連絡者</b> Person who can be a substitute of the principal investigator (instructor)	※実験責任者が不在の際など、責任者に代わって対応できる実験実施者としてください。			
	<input type="radio"/> 責任者と同じ <input checked="" type="radio"/> 連絡者を登録			
	氏名	<input type="text" value="選択してください"/>	職	<input type="text"/>
	所属部局	<input type="text"/>	分野等	<input type="text"/>
	電話番号	<input type="text"/>	E-mail	test@testmail.co.jp
教育訓練受講番号	<input type="text"/>			

## ⑤ 動物実験（教育研修）責任者

【責任者になれる職位】（特任）教授、（特任）准教授、（特任）講師、（特任）助教、助手

- 初期設定では計画書の作成を開始した人が責任者です。変更する場合は、まず該当者を動物実験実施者に追加してください。氏名右端のプルダウンメニューから選択できるようになります。
- 実験実施者欄で自動表示される所属部局と、責任者欄で選択した所属部局に相違がある場合は、責任者欄の氏名の欄が赤く表示されます。責任者欄では正しい所属部局を選択してください。承認番号の部局（略字部分：「医動」等）と異なる部局へ異動となる場合（医学系研究科から医工学研究科に異動など）は新規申請となります。ただし、以下の場合は問題ありません。

責任者欄で選択した部局を兼務している（または兼務や異動の予定あり）

病院と病院（医）、または病院と病院（歯）の相違

## ⑥ 連絡者

- 実験責任者に連絡が取り難い場合の連絡先として実験実施者の中から連絡者を登録できます。その方に入力権限を付与すると、システムからの自動配信メールも送信されます。

ディスカッション 

### 実験（教育研修）の目的と代替法について Purpose, use of alternative methods

⑦

<b>実験（教育研修）の目的</b> 実験の必要性、その目的・意義など Purpose of animal experiments and related activities	<input type="text"/>
<b>代替法の検討状況</b> Consideration for the use of alternative methods	<input checked="" type="radio"/> 検討した <input type="radio"/> 検討していない
<b>動物実験を行う倫理的根拠</b> Ethical reasons for conducting animal experiments	<input type="checkbox"/> 丸ごとの動物でのみ生物学的過程やメカニズムを解析できる <input type="checkbox"/> in vitroでの系を実施するため動物の組織が必要である <input type="checkbox"/> in vitroで行われた方法をin vivoに応用するために必要である <input type="checkbox"/> その他

## ⑦ 実験（教育研修）の目的

- 実験全体の目的や科学的・社会的意義、動物実験を行う必要性について、専門分野以外の審査委員や一般の方に伝わるよう分かりやすく記載してください。
- 具体的な実験方法や解析手法についての記載は避けてください。
- 略号を用いる場合は、初出時に正式名称を記載してください。

## ⑧ 代替法の検討状況

- 該当するものを選択してください。

## ⑨ 動物実験を行う倫理的根拠

- 該当するものを選択してください。その他を選択した場合、具体的内容を入力してください。

# ● 入力項目の説明

ディスカッション

実験（教育研修）の実施場所と飼育管理について Location of the laboratory and the facility for care and management

10

11

12

13

14

**実験（教育研修）の実施場所**  
Location of facilities

共同利用の飼養保管施設／実験室

- 2016農施-003 農学研究科附属動物研究棟
- 2017加施-001 加齢医学研究所 動物実験施設
- 2017薬施-002 東北大学大学院薬学研究所 S P F 実験動物施設
- 2018サ施-001 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター 動物飼養実験室
- 2018医施-001 東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設（中央飼育実験室）
- 2018医施-002 医学系研究科附属動物実験施設 0号館
- 2018医施-003 東北大学病院臨床分室
- 2018医施-019 東北大学病院先端医療技術トレーニングセンター
- 2018薬施-003 東北大学大学院薬学研究科動物飼育施設・第一動物舎
- 2020医施-006 医学系研究科附属動物実験施設【臨時飼養保管施設・加齢研】
- 備考

その他の飼養保管施設

部局	承認番号	名称	ステータス
<input type="checkbox"/>		備考（飼育を行わない場合はその旨を記入）	

その他の実験室

部局	承認番号	名称	ステータス
<input type="checkbox"/>		備考	
<input type="checkbox"/>		飼養保管施設と実験室間など、動物を移動する際のルー	

実験室/保管室 選択

部局	承認番号	実験室名	拡散防止措置
歯学研究科			選択...

実験室/保管室

選択	部局	承認番号	ステータス	実験室名	拡散防止措置の区分
<input type="checkbox"/>	歯学研究科	2019歯施-	承認済み		
<input type="checkbox"/>	歯学研究科	2019歯施-	承認済み		
<input type="checkbox"/>	歯学研究科	2021歯施-	承認済み		
<input type="checkbox"/>	歯学研究科	2021歯施-	承認済み		
<input type="checkbox"/>	歯学研究科	2016歯施-	承認済み		

## 検索画面

ユーザー登録で飼養保管施設や実験室をグループ登録しておくと、一括で追加できます。

### ⑩ 共同利用の飼養保管施設/実験室

- 共同利用の施設を利用する場合には、該当する施設にチェックを入れてください。  
【注意】 実際の利用が可能かどうか（設備機器類、飼育スペースなど）については、各施設に直接確認してください。

### ⑪ その他の飼養保管施設

- 共同利用の飼養保管施設/実験室以外の飼養保管施設を使用する場合は、検索ボタンで表示される検索画面から選択・追加をしてください。
- 飼養保管施設を使用しない場合は、備考欄にチェックを入れ、その旨を明記してください。

### ⑫ その他の実験室

- 検索ボタンで表示される検索画面から選択・追加をしてください。
- 選択済みの飼養保管施設内の実験室でのみ実験を行なう場合は、入力不要です。

### ⑬ 飼養保管施設と実験室間など、動物を移動する際のルールを遵守します

- 確認の上、チェックを入れてください。

### ⑭ 動物の飼育管理上の注意点など

- 該当するものを選択してください。
- その他を選択した場合には、具体的な内容を入力してください。

3

# ● 入力項目の説明

ディスカッション

安全管理上注意を要する動物実験について（特殊実験区分） Animal experiments requiring special attention for security management

実験区分  
Category of the experiments

16

特殊実験実施の有無

無  有 15

1.感染実験  
安全度分類  ABSL1  ABSL2  ABSL3

2.化学発癌・重金属/毒物投与

3.非医薬品の投与実験（医薬品グレード以下の薬品、試薬など）

4.放射線同位元素・放射線使用実験

5.特定動物（人に危害を加える恐れのある危険な動物）

6.特定外来生物（日本の生態系に被害を及ぼす又は及ぼすおそれのある外来種）

7.麻薬・向精神薬の使用  
麻薬の使用  無  有  
免許  取得済  申請中（免許取得後に実験を実施することに同意）  
麻薬研究者免許を添付してください

ファイルをドロップ

ファイルを選択

ファイル名 削除

向精神薬の使用  無  有

8.遺伝子組換え実験承認番号（ゲノム編集を含む）

検索

承認番号	ステータス	実験責任者	拡散防止措置 の区分
<input type="checkbox"/> 申請中の場合は承認後に実験を実施することに同意			
拡散防止措置区分 <input type="checkbox"/> 大臣確認実験 <input type="checkbox"/> 特定飼育区画			

9.人を対象とする研究倫理委員会へ申請が必要な実験  
 承認済  申請中（承認後に実験を実施することに同意）

## ⑮ 特殊実験実施の有無

- 1～9の区分に該当する実験を行う場合は、「有」にチェックを入れてください（有にチェックを入れると入力欄が展開します）。

## ⑯ 特殊実験区分の詳細

- 該当する箇所にチェックを入れてください。
  - 感染実験（ウイルス、寄生虫、などを用いた実験）、安全度分類：ABSL1～3
  - 化学発癌・貴金属/毒物投与
  - 非医薬品の投与実験（医薬品グレードに満たない薬品、試薬など）
  - 放射性同位元素・放射線使用実験（PET、CT、γ線など）
  - 特定動物（人に危害を加える恐れのある危険な動物）：ニホンザルなど
  - 特定外来生物（日本の生態系に被害を及ぼすまたは及ぼす恐れのある外来種）：アカゲザル、カニクイザルなど
  - 麻薬・向精神薬の使用
    - ケタミンなどの麻薬を使用する場合には「麻薬研究者免許」が必要です（「麻薬施用者免許」は不可）。免許取得済みの場合は、麻薬研究者免許証を添付してください。
    - 申請中の場合は、申請中にチェックを入れてください。
  - 遺伝子組換え実験承認番号（ゲノム編集を含む）
    - 遺伝子組換え実験（ゲノム編集を含む）が関連する場合は、検索ボタンから該当する遺伝子組換え実験計画書（申請中や作成中を含む）を選択してください。
    - 「申請中の場合は承認後に実験を実施することに同意」にチェックを入れてください。
  - 人を対象とする研究倫理委員会へ申請が必要な実験

# ● 入力項目の説明

動物実験（教育研修）の方法、カテゴリ分類と人道的エンドポイントについて

Methods for animal experiments and related activities, category of pain and distress, humane endpoints

全て開く

全て閉じる

⑰	<b>実験番号</b> Experiment ID	1 <span style="float: right;">ディスカッション </span> <span style="float: right; background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px 5px;">↑</span>
⑱	<b>実験（教育研修）の概要</b> Overview of animal experiments and related activities	<input type="checkbox"/> 1.給餌制限・給水制限 <input type="checkbox"/> 8.環境ストレス <input type="checkbox"/> 2.材料採取 <input type="checkbox"/> 9.行動観察 <input type="checkbox"/> 3.試料投与 <input type="checkbox"/> 10.特殊飼育 <input type="checkbox"/> 4.麻酔下手術（術後に覚醒せずに安楽死） <input type="checkbox"/> 11.拘束 <input type="checkbox"/> 5.麻酔下手術（術後に覚醒） <input type="checkbox"/> 12.発生工学・胚操作 <input type="checkbox"/> 6.腫瘍移植 <input type="checkbox"/> 13.繁殖・飼育工学 <input type="checkbox"/> 7.病態モデル <input type="checkbox"/> 14.体験学習、講習会、動物の展示
⑲	<b>実験(教育研修)の方法</b> Methods for animal experiments and related activities	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 40px;"></div>

## ⑰ 実験番号

- 1つの計画書につき、実験番号は5つまで作成することができます。

**【注意1】** 実験を削除した場合はその実験番号は欠番となりますが、その場合でも5つまで作成できます。

例えば、実験番号1～5を作成後に実験番号2を削除すると、実験番号は1、3、4、5となり、次に実験を追加すると、その番号は6になります。

**【注意2】** 変更・更新申請の際に、既に承認済みの実験番号を丸ごと削除することはできません。

## ⑱ 実験（教育研修）の概要

- 該当するものを全て選択してください。

## ⑲ 実験（教育研修）の方法

- 1500字まで入力可能です（半角全角問わず）。
- 専門分野以外の方が読んでも分かるよう、用語や略語の説明を加え、丁寧に分かりやすく記載してください。
- 3R「Replacement（代替）・Reduction（削減）・Refinement（改善）」に十分に配慮してください。
- 実験動物へどのような処置を施し、また適切な人道的配慮が行われているかが分かるよう、具体的な手技や条件等を詳しく記載してください。
- 複数の動物種や系統を使用する場合は、その理由を記載してください。
- 実験に使用する動物の週齢・月齢・年齢を記載してください。
- 実験の時系列に沿って、麻酔・薬剤投与（投与量・投与経路・投与部位）・安楽死処置などを行うタイミング、処置に要する時間や観察の期間などを分かりやすく記載してください。
- 初めて行う実験では、少数の動物を用いて予備実験を行うことを検討してください。また、予備実験についても方法欄に記載するとともに、動物の使用数欄に必要な数を計上してください。

# ● 入力項目の説明

20

動物の使用数または繁殖数  
Number of laboratory animals (required or bred)

動物種 選択...	入手先など 選択...	系統名 検索 検索または入力してください
遺伝子組換え動物 <input type="checkbox"/> 有	微生物学的保証 <input type="checkbox"/> 有	動物の特性など
匹数 <input type="text" value="0"/> ×	群数 <input type="text" value="0"/> ×	回数 <input type="text" value="0"/> = 合計 <input type="text" value="0"/>
算出根拠		使用動物削除

使用動物追加

動物種

選択...

- マウス
- ラット
- ハムスター
- モルモット
- ウサギ
- イヌ
- サル
- マーモセット
- 家畜ブタ
- ミニブタ
- マイクロブタ
- ヤギ
- ヒツジ
- ウシ
- ニワトリ
- アノールトカゲ
- ゼブラフィッシュ
- その他

入手先など

選択...

- 日本クレア (株)
- 日本チャールス・リバー (株)
- 日本エスエルシー (株)
- その他
- 自家繁殖
- 譲渡
- その他

系統名または遺伝子型検索

名称

検索

系統名または遺伝子型

選択 名称

- PCK/CrjCrj-Pkhd <spk> /CrjCrj
- CrjZUC Lepr <fb>
- Crj:CD(SU)
- Crj:W1 (WisJar)
- Crj:LE
- HN/CrjCrj
- F344/DuCrjCrj
- I FW/CrjCrj
- SHR/NCrjCrj
- WKY/NCrjCrj
- ZDF-Lepr <fb> /CrjCrj

追加

## 20 動物の使用数または繁殖数

- 「動物種」、「入手先など」、「系統名」の順に選択・入力してください。登録されたマスタ情報から入手先や系統名が絞り込まれ、プルダウンメニューから選択することができます。入手先や系統の情報が登録されていない場合は、その他を選択し直接手入力してください。

**【注意】**「動物種」でマウスを選択した際に「入手先など」のプルダウンリストで表示される「認定マウス」、および「譲渡」については現在は選択不可となっておりますので、「その他」を選択し、具体的な入手先および系統名を手入力してください。

- 遺伝子組換え動物および微生物学的保証について、該当する場合はチェックを入れてください。
- 「動物の特性など」の欄には、使用する系統の表現型や特筆すべき症状などについて簡潔に記載してください。
- 算出根拠欄には、1群当たりの匹数、群数の内訳、実験回数について、それぞれの根拠を分かりやすく記載してください。500字まで入力可能です（半角全角問わず）。  
計算式に落とし込みにくい場合は、匹数50×群数1×回数1=50などと入力し、算出根拠欄でその内訳を説明してください。

- 「使用動物の追加」ボタンを押すと、動物種や系統を追加できます。実験番号1つについて30行まで追加可能です。30行を超える場合には、別の実験番号欄に分けて記載してください（あるいは計画書を分けてください）。

**【注意】**既に承認済みの「動物種」「入手先など」「系統名」「遺伝子組換え動物」「微生物学的保証」「動物の特性など」は削除・編集することはできません。

※ マウス・ラットについては、使用する系統の作出や維持のための繁殖に要する使用数についても記載をお願いします。繁殖のスタートとなる「親」の系統名とその匹数、並びに「子」の中で「実験に使用する系統名（作成を目指す系統名）」とその匹数を計画書の「動物の使用数または繁殖数」の欄に記載してください。

動物・遺伝子実験支援センターHPのWEB申請マニュアルのページ<https://www.clag.med.tohoku.ac.jp/clar/web/>に掲載されている「繁殖用マウス使用匹数算出シート記載例」を参考にしてください。

[https://www.clag.med.tohoku.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/clar-img/web/hannshoku\\_sannshutu\\_rei.pdf](https://www.clag.med.tohoku.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/clar-img/web/hannshoku_sannshutu_rei.pdf)

# ● 入力項目の説明

21 想定される苦痛のカテゴリー  
 Category of pain and distress

22 動物の苦痛軽減・排除の方法  
 Method for minimizing/eliminating pain and distress to laboratory animals

23 実験終了後の処置  
 Methods of how to treat laboratory animals after the completion of experiments

24 実験方法の複製・削除  
 Replication or deletion of this section

実験方法の新規追加

A: 生物個体を用いない実験あるいは植物、細菌、原虫、又は無脊椎動物を用いた実験。発育卵卵を使用した実験。

B: 脊椎動物を用い、ほとんど苦痛を与えない実験。保定。経口投与。急性毒性を示さない注射。採血。麻酔下手術（術後に覚醒せずに安楽死）。飼育管理時の安楽死処置。

C: 軽微なストレスや短時間の痛みを伴う実験。短時間の拘束。免疫接種。麻酔下手術（術後に覚醒する）。代理の母親を与えること。

D: 重度のストレスや痛みを伴う実験。腫瘍移植。長時間の拘束。攻撃的な行動実験。毒性試験。無麻酔の痛み実験。

E: 無麻酔下で激しい痛みを与える実験。火傷外傷を引き起こすこと。筋弛緩薬の注射などを用いて、外科的処置を行うこと。重度のストレス。本カテゴリーの実験は禁止です。

1.短時間の保定・拘束及び注射など、軽微な苦痛の範囲であるため特に処置を講ずる必要は無い  
 2.科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず処置できない  
 3.麻酔薬・鎮痛薬・抗生剤等を使用する

行追加

薬剤名	投与量	投与経路	
選択...		選択...	削除

4.術後管理  
 保温  補液  頻回の観察  特別食の給餌  
 その他

5.苦痛・ストレス・QOLを伴う場合、下記の人道的エンドポイントを設定する

安楽死処置  通常の飼育管理に戻す  他の実験に供試する（十分な回復期間を設定します）  
 その他

上記の内容を複製して追加

この実験方法を削除

選択...

経皮投与  
 吸入投与  
 点眼  
 眼球内投与  
 点耳  
 経鼻投与  
 経口投与  
 経口投与 (PO)  
 経膈投与  
 注腸投与  
 経動脈投与 (IV)  
 経動脈投与 (IA)  
 経肉内投与 (IM)  
 心臓内 (心腔内) 投与 (IC)  
 皮下投与 (SC, sub Q)  
 骨内投与 (IO)  
 尿内投与 (ID)  
 くも膜下 (腰) 投与 (IT)  
 胎内投与 (胎胎内) 投与 (PI)

## 21 想定される苦痛のカテゴリー

- 該当するものを選択してください。ヘルプにある「カテゴリ分類一覧表」も参考にしてください。  
<https://www.clag.med.tohoku.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/clar-img/security/categories.pdf>

## 22 動物の苦痛軽減・排除の方法

- 該当するものを全て選択してください。詳細情報が必要なものは入力欄が展開します。
- 「3.麻酔薬・鎮痛薬・抗生剤等を使用する」欄について：使用する薬剤名・投与量・投与経路を選択・記入してください。投与量欄では、次のことが分かるように記載してください。
  - 吸入麻酔：気化器使用の場合→「導入何%、維持何%」
  - 吸入麻酔：麻酔瓶・チューブ等、投与量が明確でない場合→「必要十分量」
  - 注射麻酔：動物の体重当たりの麻酔薬成分の量（mg/kg等）

※動物種によって異なる場合はそれぞれについて記載してください。

※安楽死処置の補助として使用するものは安楽死処置の方法の欄へ記載してください。

- 存命手術を行う場合は「4.術後管理」にチェックをいれ、該当するものを選択、あるいはその他にその内容を記載してください。存命手術以外の経過観察については、方法欄や人道的エンドポイント欄に記載してください。
- 「人道的エンドポイント」について：人道的エンドポイントとは、実験動物を激しい苦痛やストレスから解放するために実験を打ち切り、安楽死処置を施すタイミングを指します。実験を継続して得られる知見よりも動物への苦痛が大きいと判断するポイントで、実験のエンドポイントとは異なります。実験内容に応じて、人道的エンドポイントとみなす動物が示す具体的な複数の症状や合理的な数値的指標（体重減少、腫瘍径、など）を挙げてください。ヘルプの「人道的エンドポイントの指標」も参考にしてください。  
<https://www.clag.med.tohoku.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/clar-img/security/humane.pdf>

## 23 実験終了後の処置

- 該当するものを選択してください。

## 24 実験方法の複製・削除、実験方法の新規追加

- 入力した実験内容を複製して編集することができます。実験番号は自動で付番されます。実験番号を削除するとその番号は欠番となりますが、合計5つの実験番号（実験4を削除した場合→実験1、2、3、5、6、等）を作成できます。
- 新規で実験を追加する場合は、「実験方法の新規追加」ボタンを押してください。

# ● 入力項目の説明

使用動物について Laboratory animals

②5

使用動物 Species and strain of laboratory animals	使用動物の転記					
	動物種	系統名	匹数	遺伝子組換え動物	微生物学的保証	入手先など
	選択...		0	無	無	選択...
当該動物を実験に用いることの正当性 Validity of using above animals	<input type="checkbox"/> 実験用モデル動物として広く認められている					
	<input type="checkbox"/> この動物から得られた膨大な実験データがある					
	<input type="checkbox"/> 生理、解剖学的または大きさの面から当該動物が適当である					
	<input type="checkbox"/> その他					
使用匹数算出根拠の正当性 Validity of the rationale of the number of laboratory animals required	<input type="checkbox"/> 目的達成のため最低限必要な生物材料を得るために必要な数であるから					
	<input type="checkbox"/> 実験成果を統計学的に処理するために最低限必要な数であるから					
	<input type="checkbox"/> その他					

②6

安楽死処置、動物死体の処理について Euthanasia, disposal of carcasses

②7

安楽死処置の方法 Methods of euthanasia	<input checked="" type="checkbox"/> 1.麻酔薬等の使用		
	行追加		
	薬剤名	投与量	投与経路
	選択...		選択... <span style="color:red">削除</span>
	<input type="checkbox"/> 2.炭酸ガス（高圧容器）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 3.中枢破壊による安楽死 <input type="checkbox"/> 頸椎脱臼 <input type="checkbox"/> 断首		
	<input type="checkbox"/> 4.その他		
	安楽死の確認について <input type="checkbox"/> 死亡の確認を確実にします（心臓停止の確認や放血処置など、動物種に合わせた死亡の確認を行います）		
動物死体の処理方法 Methods of disposal of carcasses	<input type="checkbox"/> 1.学内で焼却		
	<input type="checkbox"/> 2.外部業者に委託		
	<input type="checkbox"/> 3.その他		
その他特記事項等（他機関との共同研究、委託実験など） Special notes	[Text Area]		

②8

②9

添付ファイル一覧

③0

添付ファイル Attachments	ファイルをドロップ ファイルを選択	
	ファイル名	削除

申請履歴

③1

履歴	処理	資格	コメント	処理日
コメント	[Text Area]			

## ②5 使用動物

・各実験番号欄で入力した使用動物の情報が集約されます。「使用動物の転記」ボタンを押すと情報が更新されます。

## ②6 当該動物を実験に用いることの正当性、使用匹数算出根拠の正当性

・該当するものを選択してください（複数可）。

## ②7 安楽死処置の方法

- ・該当するものを選択してください（複数可）。詳細情報が必要なものは入力欄が展開します。
- ・実験終了後の処置で安楽処置を選択した場合は、「安楽死の確認について」にチェックが必要です。
- ・麻酔薬使用の場合以下が分かるように記載してください。

a. 過剰麻酔：吸入麻酔薬を使用する場合は窒息状態にならないことに留意し、気化器を使用しないケースでは、「チャンバー内に十分な酸素を確保する」などと記載してください。

b. 中枢破壊の補助麻酔：必要十分量（補助麻酔）

## ②8 動物死体の処理方法

・該当するものを選択してください（複数可）。

## ②9 その他特記事項等

・一連の実験あるいはその一部を他機関で行う場合などは、その旨を記載してください。また、審査を受けた機関の承認証やその他の関連資料を「添付ファイル」欄に添付してください。

## ③0 添付ファイル

・実験方法の補足情報などを添付することができます。

## ③1 申請履歴

- ・動物・遺伝子実験支援センターに問い合わせなどがある場合には、コメント欄を使用できます。
- ・長文になる場合には動物実験担当：[clar@grp.tohoku.ac.jp](mailto:clar@grp.tohoku.ac.jp)宛にメールでお問い合わせをお願いします。